

「B to B to Front（お客様の最前線：フロント）」で環境課題の解決に貢献してまいります。



代表取締役社長

下島 文明

地球温暖化やエネルギー問題、資源問題がクローズアップされている厳しい地球環境の中で、富士通フロンテックグループは社会やお客様とともに環境問題を真剣に取り組んでいます。社会の持続可能な発展とビジネスの成長をともに実現するために、富士通フロンテックグループが持っているあらゆる技術と人材をフル活用して地球環境課題の解決に取り組むことが重要だと考えています。

●ICTで環境課題を解決

ICT社会の進化に伴い、クラウドコンピューティングの進展、ビッグデータ時代のビジネス変革など、システムへのニーズが多様化しています。

当社グループは、「最先端の技術で人とICTをつなげる製品やサービスの提供」をコンセプトに、フロントテクノロジー製品の開発、製造、販売、サービスにおいてプロダクトからソリューション・サービスを含めたトータルビジネスを推進することで、「B to B to Front（お客様の最前線：フロント）」という領域を担う企業として、最先端の技術でお客様への持続的な価値提供を行っています。

金融、流通、産業・公共の各分野で、ものづくり技術を活かしたプロダクトの提供に加えて、クラウドシステムやソリューション・サービスへの拡充を図っています。

さらに、地震や火災などの自然災害時に、セキュアなシステム（データの格納や認証技術）を構築することにより、BCP（ビジネスコンティニュイティプラン）をサポートするなど、お客様の事業のLCM（ライフサイクルマネジメント）をICTで支えています。

当社グループが開発した製品やサービスは省エネ・省資源、温室効果ガス排出の低減を図り、環境性能に優れたものとなっており、多くのお客様に導入をいただいている環境課題の解決に貢献しています。

●環境活動と事業戦略の一体化

『社会への貢献』と『自らの事業活動』を環境負荷低減活動の柱に据えて、持続可能な社会と地球環境課題の克服のため、ICT企業として取り組んでまいります。

富士通フロンテックグループは、『環境にやさしい企業活動』を推進します。

当社グループは、富士通グループの中で中期環境ビジョン『Green Policy 2020』に向けた第7期環境行動計画（2013-2015年）に沿って、具体的な目的・目標を設定して活動しています。2013年度は、省エネ・省資源に優れた環境配慮製品の開発、温室効果ガスを低減する環境貢献ソリューションの開発、社員が地域貢献活動を拡大する事、電力を主体としたエネルギー消費を削減して事業活動による環境負荷を低減させるなどの目標を立て全項目において目標を達成いたしました。

●社会への貢献

当社グループが開発する環境配慮製品はエネルギー効率においてトップランナー製品となっています。新規に開発する製品の50%以上をトップレベルにすると共に資源効率においても2011年度開発製品比20%以上の向上を目標としています。2013年度に量産を開始した超小型非接触静脈センサー（PalmSecure-EL）が従来比エネルギー効率18%改善、資源効率改善（体積61%減質量56%減）を実現しており、国内はもとより海外でも広く活用いただいております。

また、環境貢献型ソリューション・サービスを導入していただく事によって、お客様の温室効果ガス排出削減にも貢献しております。例えば、診察予定の順番が近くなると受付された外来患者様の携帯電話に自動的にメールを送信し、診察状況をお知らせする[モバイル端末呼出システム]などの医療関係や金融・流通関係のソリューションを今年度も数多く開発しています。

●自らの事業活動

当社グループの事業活動におけるエネルギー消費を抑えるために節電をより強化しています。2014年度は、使用電力量を2010年度比夏季（4-10月）▲25%冬季（11-3月）▲15%削減を目標としました。



経営執行役員常務（環境経営委員長）

松森 邦彦

環境コンプライアンスでは、本社および新潟工場事業所の環境測定（水質や騒音）を実施して法規制の順守状況を把握し、環境経営報告書で公表しています。

●環境経営

当社グループは『環境にやさしい企業活動』を基本理念として、地球環境保全への取り組みを展開しています。組織と社員一人ひとりが環境問題をよく理解し、自分の責任と目標を持って積極的な環境活動を推進してまいります。

●写真撮影 鷹羽金蔵

■会社概要

- 社名 富士通フロンテック株式会社
- 設立 1940年（昭和15年）11月9日
- 資本金 84億5,750万円
- 決算期 3月31日
- 代表者 代表取締役社長 下島 文明（しむじまぶんめい）

■所在地

- 本社・東京工場 〒206-8555 東京都稲城市矢野口1776番地 新潟工場 〒959-0294 新潟県燕市吉田東栄町17番8号 大宮ソリューションセンター 〒330-6013 埼玉県さいたま市中央区新都心11番地2号 明治安田生命さいたま新都心ビル（ランドアクスタワー）13階 大阪ソリューションセンター 〒540-0001 大阪府大阪市中央区城見2丁目2番53号 大阪東京海上日動ビルディング8階 熊谷サービスソリューションセンター 〒360-0801 埼玉県熊谷市大学中奈良1224[富士通(株)熊谷工場内]

■留事務所

- 〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター8階
- 大森事務所 〒140-0013 東京都品川区南大井6-20-14 イーストスクエア大森3階

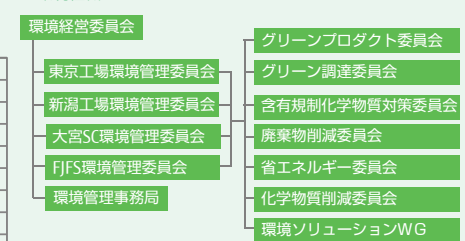
■グループ会社（国内・海外）

- 株式会社ライフクリエイト（LC）
- 株式会社富士通フロンテックシステムズ（FJFS）
- トータルゼータエンジニアリング株式会社（TEL）
- FUJITSU DIE-TECH CORPORATION OF THE PHILIPPINES（フィリピン）（FDTP）
- 富士通先端科技（上海）有限公司（中華人民共和国）（FFTS）
- FUJITSU FRONTTECH NORTH AMERICA INC.（米国）（FFNA）

■売上高の推移（連結）



■環境組織



※ISO14001の組織上、関西支社、大森事務所および大宮SCはそれぞれ東京工場大宮SCの下部組織として活動しています。また、汐留事務所、熊谷サービスソリューションセンターおよびその他の各支店は、富士通同一事業所のため、それぞれの事業所組織で活動しています。

■富士通フロンテック・ウェイ 富士通フロンテックグループ社員一同、「富士通フロンテック・ウェイ」において定めた企業理念企業方針および行動規範、行動指針に準って取り企業活動によって生じる多様なリスクを低減し社会的責任を果たしてまいります。

また、上記方針を踏まえ「内部統制システムの整備に関する基本方針」を改定し経営の適正を確保するとともに業務の効率化を図り企業価値の持続的向上に努めています。

